

令和7年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
1	小諸市農村資源活用交流施設	佐久浅間農業協同組合	農林課	C (C)	76	【指定管理者意見】 施設の老朽化により、毎月のように修理が発生している。湯上り室の冷房設備については、故障して3年近くなるがそのままの状況が続いている。大規模な修繕が必要となっている。節電、節水を心掛け、太陽光発電設備の導入により電気料金の削減が実現した。 【所管課意見】 R7.6利用料金の改定により、前年比6%ほど入浴者は減っているが、安定した施設運営が行われていると捉えている。しかし、減少した分、新たな利用者を獲得するための広報や収入を増加させるための取組については課題としている。
2	小諸市農産物加工施設	味工房「小諸すみれ」	農林課	C (C)	83	【指定管理者意見】 農山漁村女性活躍表彰で最優秀と認めていただき、うれしく思う。広報こもろで呼びかけ地元の人たちと一緒に母の手料理講習会を開催している。初心の「地産地消」を忘れず地元の山ぶき、梅、米、大豆、野菜を使用した製品づくりを心掛け、各野菜直売所や銀座NAGANOへも納品を続けている。味噌をはじめ商品のリピーターが増え、各地区での行事の際や会合でのお弁当の注文も増え、忙しく活動してる。施設が20年たち、設備に劣化が出始め修繕や再購入など考えなければならないことが増加した。昨年度のように赤字決算が続くと厳しい状況になる。 【所管課意見】 高齢化による人手不足が年々深刻化しており人員の確保が課題である。農山漁村女性活躍表彰で最優秀という素晴らしい評価を得ていることは評価すべき点と考える。生産コストの削減や新商品の開発の取組等、今後の活動に期待している。
3	小諸市西小諸活性化施設	西小諸活性化施設運営委員会	農林課	C (C)	82	【指定管理者意見】 利用状況では、令和7年度は利用件数204件、利用人数3,981人となり、利用件数・利用人数ともに前年度より増加した。これに伴って使用料の収入も増加した。令和7年度は5月に菜の花まつり、11月に秋の収穫祭・新そば祭りを開催し、ともに700人以上が来場するなど大勢の来場者が西小諸地区に足を運び、賑わいが創出されている。運営面では、開館時より課題であった事務及び会計を担う人材を確保したことにより、安定的に施設運営できる体制が整えられた。 【所管課意見】 地元住民の利用のほか地域外からの利用もあり、またリピーターとなっている利用者も見られ、景観や立地条件が高く評価されている。運営の努力により利用者が増加しており、使用料収入の増加にもつながっている。引き続き持続可能な組織体制を構築するとともに、新たなイベント等の企画を期待する。

令和7年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
4	小諸市ひまわり園	社会福祉法人 小諸学舎	福祉課	C (C)	83	【指定管理者】 専門性の高い職員を配置し、利用者の皆さんには、安心安全な環境を提供し、ご家族と共に健やかな成長を育むことができるよう努めている。また、児童発達支援センターとして、地域の皆さんを対象とした一般相談、ペアレントトレーニング等の研修、支援者研修、乳幼児健診へのご協力等の支援を実施し、好評をいただいている。 【所管課】 児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援を実施し、児童の心身状況等に応じた適切かつ効果的な指導、訓練及び支援が実施されている。また、児童発達支援センター機能としての一般相談では、発達や不安症、不登校など様々な相談に応じ、こどもと家族の思いに寄り添った相談支援を実施、必要に応じて専門機関、市関係部署、保育園、学校等との連携・調整を行っている。研修事業として、保護者対象のペアレントトレーニング・親の会、保育士、教師等を対象としたティーチャーズトレーニングを開催し市内だけでなく市外からの参加申込もある。また、地域の児童福祉の事業所、保育園、幼稚園に対する援助として、信頼関係を構築し、相談に対応するなど、専門的知識を活かし、地域の中核的役割を果たす機関としての取組みも行っている。今後も引き続き、利用者のニーズに応じた支援の実施を期待する。
5	小諸市福祉企業センター	社会福祉法人 長野県知的障害者育成会	福祉課	C (C)	82	【指定管理者】 当センターの利用者数は全体で36名とやや減少傾向にあるものの、受託作業については既受託先からの発注量が増加し、活発に事業が展開された。1日当たりの平均利用人数は、生活保護授産事業が11.9人、就労継続支援B型が13.7人となっている。なお、就労移行支援事業は令和7年7月より休止している。、職員の人員配置の見直しを行った効果により、障害福祉サービス等事業収益がB型で2,280万円(前年比327万円増)、生活保護授産事業で2,613万円(前年比365万円増)と、ともに大幅に増加。費用面では人件費や備品等の経年劣化による修繕費が増加したものの、収益の伸びの範囲内に収まり、当期活動増減差額は351万5千円の黒字となった。前年度の155万円から197万円の大幅な増益となり、経営状況は堅調に推移。 【所管課】 福祉の受け皿として必要な施設と考える。正規職員が1名減となり、令和7年度のサービスの質をどう維持していくかについて注視していたが、報告内容より問題はないと考える。 令和8年4月から、就労支援B利用者について送迎加算を導入。利用者6名を3台の車で送迎している。体験利用者が増えたこと、8月より正式に利用者1名増が決定し、効果はあると思われる。 物価高騰及び人件費高騰により、サービスの質等の維持について引き続き注視していく。
6	小諸市野岸の丘総合福祉センター	社会福祉法人 小諸市社会福祉協議会	福祉課	C (C)	84	【所管課】 施設建築年(1990年)から35年が経過し、設備修繕に多くの費用が発生しつつある。令和7年度は、利便性の向上を含めた修繕(改修)が行われている。指定管理者と担当課の連携を密にし、計画的な修繕に努めたい。

令和7年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
7	ワークポート野岸の丘	特定非営利法人 ウィズハートさく	健康づくり課	C (C)	82	【指定管理者意見】 小諸市社会生活支援事業について、問い合わせや見学、電話相談は数件あるものの、利用には至っていない現状である。以前は、野岸の丘施設内を利用されていた方もいたが、現在の相談者のご希望は、野岸の丘施設に通うことがハードルが高いことが伺える。近隣にある小諸市社会福祉協議会2階に安心して集える場所を確保するために、力を貸していただきたく切にお願いしたい。 ・就労継続支援B型事業における工賃向上の取り組み：小諸市清掃受託業務や東急ホテルグループ請負作業に加えて、農園作業等を継続し、利用者が継続的に利用できるように、年間の工賃支払額を前年度に比べて増やすことができた。また、11月に野岸の丘まつりを開催し、利用者が主体的に活動した結果、バザー等の売上増により工賃向上につながった。また、活動内容の周知が図られたことで焼き芋の定期販売にも結びつき、売り上げ増につながった。 ・余暇支援の取り組み：月2回を限度として土曜日に加えて祝日やお盆中も開催した。1回につき平均5名の利用者が参加し、調理実習や外出等を楽しめた。利用者同士の交流や就職者の休日の居場所にもなった。また、リハビリ学習会やわかち合いの会も継続して開催し、生きづらさや生きやすくなる方法等について情報交換ができた。 ・就労定着を目指した取り組み：B型事業から利用者4名が正規雇用、契約の就労につながった。また、就労を目指す利用者に対してハローワーク同行、『自分の取説』作り、模擬面接、企業実習を関係機関と連携して実施した。就労定着支援として、面接やメールに介した相談等を実施し、4名が6か月以上継続し、現在も就労継続している。 ・訪問型自立訓練(生活訓練)では、行政や関係機関と連携し、一人暮らし家庭への生活支援を継続的におこなった。通所型では、地域資源の開拓や買い物支援、ファイナンシャルプランナーやパソコン検定資格取得等の個別支援を実施し、自己肯定感を高める支援を継続した。事業内容の周知を図る為、パンフレットの作成、配布を継続し見学や体験も積極的に受け、新規通所者9名につながった。野岸の丘まつりではバザーや販売による生産活動を実施し、利益を利用者に還元できた。バザー開催により、地域の古布リサイクル活動に貢献できた。作品展の開催により、地域の方々から反響があり、利用者の達成感や自信につながった。社会生活の自立度評価表(SIM)にも着手し、今後は評価表を基にした支援の実施を目指したい。 ・小諸市社会生活支援事業として、利用にはつながらなかったが見学や相談は複数件あり対応した。新規利用者につながるよう引き続き、各関係機関と連携を図り、利用者が安心して集える場所を確保したい。 【所管課意見】 ・利用者のニーズ把握に努めながら、利用者一人ひとりに寄り添い必要な支援を行うなど、施設の目的達成のための事業運営が良好に行われている。 ・就労支援における新規受注先の獲得のほか、収入増に向けた焼き芋の販路拡大などの取り組みも高く評価できる。
8	小諸市総合体育館等	(一財)小諸市スポーツ協会	スポーツ課	C (C)	82	【指定管理者意見】 ・国スポのレスリング会場となることから、館内の改修工事が進んでいる。施設細部の修繕についても必要な箇所があるため対応をお願いしたい。 ・小諸市の備品として配備されているバスケットボールのゴールは、配備時に中古品であったこともあり経年劣化しており、修理についても部品の調達など困難な状況である。耐用年数が過ぎている備品について更新をお願いしたい。 【所管課意見】 ・指定管理者の自主事業などにおける創意工夫により利用者増を図っていただいている。施設改修及び備品の更新については、財政状況も考慮したうえで、計画的に更新できるよう努めたい。

令和7年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
9	懐古射院	(一財)小諸市スポーツ協会	スポーツ課	C (C)	81	【指定管理者意見】 ・懐古射院は、地主が懐古神社、施設が小諸市の為、双方の理解を得ながら管理・運営している。 【所管課意見】 ・小諸市スポーツ協会弓道部に管理運営を依頼しているが、会員に加え、会員以外の利用者も多数いるため、安全管理には特段の配慮をいただいている。 ・桜や紅葉の季節等、懐古園に来客が多い時期に、弓道の体験教室等を実施することで、利用者を増やすための取組みを積極的に行っている。
10	小諸市民ガーデン	特定非営利法人 こもろの杜	商工観光課	B (C)	85	【指定管理者意見】 お客様の評価について、グーグルマップでは5段階評価で4.2という高評価。(12件の回答平均) 食べログでは、5段階評価で4.24という高評価。(37件の回答平均) 内容としては、ガーデニングと風景の美しさを評価いただき、そのいい雰囲気の中でカフェを楽しめること、料理もおおむねおいしいという評価をいただいている。 【所管課意見】 小諸市の玄関口として、多くの市民、観光客が訪れる施設となっており、利用者からの評価も高い。多彩なイベント・講座を主催し、また市や会議所の事業にも積極的に協力し利用者の増に務めている。駅前の立地を活かし、人が集まる魅力的な場所として懐古園、本陣主屋、大手門公園、相生町商店街等と一体化した「回遊性」のある、まちづくりの拠点施設として今後の活躍に期待したい。
11	小諸市北国街道ほんまち町屋館	本町区	商工観光課	C (C)	83	【指定管理者意見】 来館者数は7月の健速神社例大祭、2～3月のお人形さんめぐりにより増加しているが、貸館利用が減っている。継続使用している諸団体の高齢化による解散等が要因と思われる。一方で新しい客層も増え(マルシェなど)、町屋館の雰囲気が入って利用していただく人たちが増えている。スタッフの高齢化の課題もあり、事業内容は現状維持となりつつあるので、若い世代を交えた自主事業の検討が必要。本町区民による年18回の清掃作業を行っている。 【所管課意見】 常に観光ガイドが行えるようスタッフの勉強を行ってはいるが、高齢化が課題で、若い世代を交えた自主事業の検討実施が必要である。
12	小諸市北国街道与良館	与良区	商工観光課	C (C)	82	【指定管理者意見】 与良館独自の自主事業の実施や物販を行い、地域コミュニティの場、地域の高齢者の憩いの場、また来訪者のおもてなしの場として定着している。収益を上げる事業も展開していきたいと考えてはいるが、スタッフの高齢化(今年2月スタッフの101歳のお誕生日会を開催)により、指定管理を継続していくこと自体も困難となる懸念がある。地域の若い世代を交え、運営をしていく必要がある。 【所管課意見】 地域の若い世代を交え、運営を検討していく必要がある。

令和7年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
13	旧脇本陣滞在型交流施設	(一社)こもろ観光局	商工観光課	C (C)	81	【指定管理者意見】 こもろ観光局事務局と連携しSNS等での情報発信や、インバウンド向けの旅行会社や長野県観光機構などにプロモーションを実施した。また、インバウンドに向けた情報発信強化のためホームページを整備中であるため、令和8年度中には完成させ発信していきたい。事業収入は少ないが、指定管理者であることで市等の視察や見学などは積極的に受けている。次年度は、事業収入の増に向けて、プロモーションをしていく。 【所管課意見】 黒字決算となった。今後益々インバウンド需要が見込めるため、情報発信や受け入れ態勢の強化し売り上げを伸ばして欲しい。
14	小諸市水道施設等	株式会社水みらい小諸	上下水道課	C (C)	83	【所管課意見】 指定管理者の周辺自治体からの信頼により周辺自治体からの業務等を受注した結果、その他の売上高で、前年度金額を大幅に上回った。また、広報活動や自社、イベント参加など積極的に行っている。今後も引続き、安定した施設管理と事業運営を実施するとともに令和9年度からの上下水道一体ウォーターPPPの円滑な導入を期待する。